

Vol.2 シンポジウム：セクシュアリティと家族問題

～いのちを支える自己肯定感をどこで育てるか

2014.9.23(祝)13:00-16:30

@仙台市市民活動サポートセンター セミナーホール

入場無料・カンパ歓迎・申し込みは不要です

問い合わせは、支えあう学習会専用アドレス
thc00sasaeau-study@yahoo.co.jp

◆内容

◇開催趣旨 THC 代表 小浜耕治

◇話題提供

- 家族問題とその後の困難、どうサバイブしたか
濱中洋平氏(「レイプクライシス・ネットワーク」
セックスワーカーアドボケーター、SWASH)
- 児童虐待とその影響
鈴木俊博氏(ソーシャルワーカー、キャップネットみやぎ、特定非営利活動法人仙台ダルク事務局長)

◇ディスカッション・質疑

成長過程における家族問題は、その後思春期や成人してからの心理状態に大きく影響を与えます。思春期に多くが自覚されるセクシュアリティは、家族関係には大変デリケートな存在となります。

学校等でいじめに合い、つらい思いを抱えても、家族にはその核心を絶対に知られたくない。家族に知られて拒絶され、居場所を失う。ネグレクトや心理的・身体的暴力などの虐待につながる。あるいはもともと虐待があるために居場所がないが、ほかに安全な場を確保するのが難しい。そして、本来であれば安全な場、安心できる場である家庭で育てたはずの自己肯定感が得られず、メンタルヘルスの低下、人間関係の困難、DV・性暴力被害、貧困、HIV など性感染症といった様々な困難に遭遇する可能性が高まってしまいます。

多様なセクシュアリティの当事者とも言える性的マイノリティは、自殺のリスクが一般人口の6倍とも言われ、自殺対策基本法に基づく「自殺総合対策大綱」にも性的マイノリティへの配慮が明記されています。このリスクに加え、本来であれば第一に支援されるべき家族に疎外されるといった危機に直面しています。

家族問題の中で、セクシュアリティの問題にどう対処していったらよいか。こじれてしまった関係を抱えながら自己肯定感を回復し、自分自身の人生をどう構築してゆけるのか。これらは克服してゆくには難しい問題です。しかし、周囲の支えと、あきらめず支援を求めることで、必ずや自分自身をいきいきと生きてゆけるようになると希望を持ちたい。その確信を参加者の皆さんとともに探索してゆきたいと思います。

主催：東北HIVコミュニケーションズ（THC）

- ◆協力：レイプクライシス・ネットワーク、性と人権ネットワークESTO、(特活)共生社会をつくるセクシュアルマイノリティ支援全国ネットワーク、(一般)社会的包摂サポートセンター、(一般)プレスみやぎ、(特活)ハーティー仙台、CAPみやぎ、キャップネットみやぎ、(特活)仙台ダルク、(特活)チャイルドラインみやぎ、みやぎいのちと人権リソースセンター
- ◆後援：宮城県(申請中)、宮城県教育委員会(申請中)、仙台市、仙台市教育委員会(申請中)、宮城県保険医協会(申請中)、宮城県社会福祉協議会、仙台市社会福祉協議会、宮城県臨床心理士会(申請中)、宮城県社会福祉士会
- ◆助成：こ～ぶほっとわ～く基金



◆ゲスト団体プロフィール

◇「RC-NET/レイプクライシス・ネットワーク」

「性暴力とは同意の無い性行為全般のことをいい、状況や法律、個々人の判断でいろいろな呼びかたをされるが、どのような状況で誰によって引き起こされたものであれ、互いの同意のない性行為は、全て性暴力。老若男女、婚姻関係、セクシュアリティなどもそこには関係ない。」というポリシーで活動を展開中。全てのレイプサバイバーのために。そして私たち自身のために。あなたの生きるこの地球上、そして地域の中に、あなたの声を聞きたいと思い、あなたが生きる姿を見たいと感じ、そして一緒に生きている、沢山の仲間がいることを伝えたい。そんな想いで活動しています。2013年にタイで行われたアジア太平洋国際エイズ会議、2014年メルボルンの国際エイズ会議にも参加。

濱中洋平さんは、主にセックスワークをめぐる活動に参加されています。

団体HP : <http://rc-net.info/> 団体ブログ : <http://blog.goo.ne.jp/rc-net/>



◇「キャップネットみやぎ」

「子育てが辛い 子どもと居るのが苦しい」 そんなときキャップネットみやぎは共に寄り添い考えます。相談電話は022-265-8866 月～土10時～16時
子ども虐待に関わる様々な問題を、市民の目線と専門家の知恵で考えていく団体として、1999年に設立されました。

鈴木俊博さんは、親の立場、子どもの立場、大きくなってからもその影響で困難を抱える人たちなどを、総合的に支援されています。

団体HP : <http://capnetmiyagi.org/wordpress/>



◆こんにちは東北 HIV コミュニケーションズです。ふだんの活動内容を紹介します。

- HIV/エイズに関する学びの場の提供
 - エイズ出前講座
 - メッセージキルト派遣
 - ゲイによるゲイのための HIV活動チーム「やるっこ」
- HIV/エイズに関する支え合い
 - エイズ電話相談
 - ケアサポート事業
- HIV/エイズ・セクシュアリティ・人権に関わる人材育成とネットワーク
 - HIVと共に生き共に学ぶ講座
 - 仙台市HIV性感染症対策推進協議会への参加
 - みやぎのちと人権リソースセンターへの参加
 - 寄り添いホットラインへの協力

◆支え合う学習会企画ボランティア ・THC 会員募集中

プロジェクトボランティア
継続ボランティア

活動会員などで活動できます。

会員は会を支える存在。

支援会員A(年会費12,000円議決権有)と
支援会員B(年会費6,000円)があります。

詳しくはメール下さい!

thc00sasaeau-study@yahoo.co.jp



東北HIVコミュニケーションズ (THC)

HIV感染症/エイズによって自らの生命や生き方に影響を受けた人々が共に生きる社会をつくる

連絡先 : 〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4丁目7-2 みやぎのちと人権リソースセンター内

FAX : 022-298-8532 E-mail : thc@silk.plala.or.jp

HP : <http://www16.plala.or.jp/thc/>